



研究部会報告

●政策科学●

●第36回

日時：2月21日(土) 14:00~17:00 出席者：8名

場所：三菱総合研究所

テーマ：「最近の電気通信の標準化の動き」

講師：飯田徳雄（電信電話技術委員会）

1985年4月から施行されている電気通信事業の自由化政策、日米経済摩擦解消のためのMOSS協議におけるアクション・プログラム等による、民間による標準づくりへの要請と、加えて非IBM陣営を中心とした開放型システム間相互接続(OSI)等の動きについて解説し、関係機関の立場の相異、技術分野における優位性または不安、将来の利害とその動向について、活発な論議を行った。

●待ち行列●

●第32回

日時：3月28日(土) 14:00~16:00 出席者：21名

場所：東京工業大学情報科学科会議室

テーマと講師：

●Q32-1 集団処理モデルにおける待ち呼数の積率（芝浦工大・村尾洋）M/G/1 集団処理モデルにおいて積率が確率分布の母関数や分母の零点等を用いず求められることを示した。

●Q32-2 即時系の出力過程（NTT通研・斉藤洋）M/GI/S/SとGI/M/S/Sの出力過程に関する解析を行ない、特性量の陽表現を求めた。

●日本のシステム科学●

●第24回

日時：3月7日(土) 14:00~17:00 出席者：9名

場所：八丁堀 東京都勤労福祉会館 第3洋室

テーマ：「最近の政局について」

発表者：佐藤永充（M&M戦略研究所）

日本独特のシステムで動いている日本の政界を、読売新聞の政治記者として表裏ともに知りつくしている発表者は、過去から現在そして将来に向かってダイナミック

に、しかも戦略的にとらえて詳細に解説されました。これはオペレーションズ・リサーチの格好の教材として大いに政治の実態を学ばしていただきました。

●第25回

日時：4月4日(土) 14:00~17:00 出席者：8名

場所：八丁堀 東京都勤労福祉会館 第3洋室

テーマ：「激動の経営学」

発表者：樋爪 徹（山之内製薬㈱焼津工場）

今までの経営学では、コミュニケーションを良好にし、みんな仲良く真面目にやっておれば成果が上がるというように考えていました。でもこれは、現在では素朴に過ぎると言わざるを得ません。とにかく現在は激動の時代です。国の内外から問題が続発し、それに対応して、それを越えてゆかなければなりません。

●社会経済分析●

●第13回

日時：3月28日(土) 14:00~17:00 出席者：20名

場所：東京都勤労福祉会館

テーマと講師：

「これからの男女関係の方向」加藤富子（松阪大学）

日本における男女関係の発展経緯をたどってみると、古代期、武家政治時代の武士階級と庶民、明治民法時代、新人類時代、というように大きな変換を経ている。特に庶民の男女関係について安土、桃山時代以後の変せんについて実証分析を行なって、今後のあるべき方向について研究をしたものである。きわめて示唆に富む結論が得られた。

会員の声・近況

川崎英文 九州大学理学部
数学科計画数学講座

修士のころより非線形計画法を研究してきました。現在でがけている問題は、無次元空間における一般化された等式・不等式制約を持つ最小化問題に対する二次の最適性条件です。この問題が最適制御問題・変分問題への一般的なアプローチであることは言うまでもありませんが、それ以上に非線形チェビシェフ近似問題の研究において有力な手法になることと大いに期待できます。特に、無限個の不等式制約は、微分方程式を含む一般の等式制約や有限個の不等式制約にはない固有の性質を有す

ることが明らかになり、目下その研究にとりこんでいます。

土谷幸久 創価大学経営学部

大学の助手の任命を受けて、はや1年になろうとしております。学会に入会したのは院生のころで、以来会員らしいことは何もせずに過ぎてきてしまいました。ここで筆を取るのはいわけのためだけではありません。

大学院のころは Stafford Beer の理論を中心に研究しており、ややORとは距離があったと思っております。

しかし昨年か意思決定論にとりこんでおり、特に多属性効用関数やファジイ情報の量と価値等に興味をもって研究しております。

助手とはいえ多少は仕事もあります。が、ほとんどは「わからないなぁ」と悩みながら本と睨めっこの1年でした。学生から「勉強したら？」と激励(?)されたこともありました。今の楽しみは、若手の先生方との勉強会と、院生から頼まれてはじめた読書会です。

今後は会員らしく、いろいろと参加させていただこうと思っております。

会合記録

編集委員会(OR誌)3月4日(水)(12)

企業懇談会 3月5日(木)(12)

フェロー会議 3月10日(火)(8)

30周年記念委員会 3月12日(木)(5)

企業懇談会 3月17日(火)(4)

庶務幹事会 3月20日(金)(8)

編集委員会 (JORSJ誌)

3月23日(月)(4)

国際委員会 3月25日(水)(5)

理事会 3月27日(金)(20)

第6回理事会議題

(62.3.27)

1. 第5回理事会議事録の件

2. 入退会の件

3. 事務長選考委員会の設置の件

4. IFORS 視察団派遣の件

5. IFORS '90開催地の件

6. APORS '88組織委員会副委員長推薦の件(報告)

7. J. APORS への協力の件(報告とお願い)

8. AHP '88後援の件

9. 国際学会調整委員会の設置の件

10. 昭和61年度研究部会・グループ終了・経過報告の件

11. 研究部会規程の一部改訂の件

12. 昭和62年度シンポジウム、春季研究発表会の準備状況の件(報告)

13. 「OR企業サロン」(仮称)創設の件

14. OR学会賞推薦の件

15. 昭和61年度事業報告・決算報告(案)の件

16. 財政問題検討委員会の第1次報告

17. 昭和62年度事業計画・予算案の件

18. 昭和62年度役員候補者の件(監事)

19. 名誉会員推薦の件

20. フェロー推薦の件

21. 広告委員会報告

22. 学術会議・FMES関係報告の件

23. その他

入退会

●61年度末退会(正会員)

荒木 陽一 東亜燃料工業(株)

有村 勝男 吉富製薬(株)

石川 賢治 住友金属工業(株)

小川 芳樹 日本エネルギー経済研究所

川原崎雅敏 日本電信電話(株)

坂本 明雄 徳島大学

久保 正寿 日本勧業角丸証券(株)

砂崎 隆 沖電気工業(株)

玉木将二郎 (株)テクノダイヤ

鶴田 和彦 川崎製鉄(株)

東川 禎男 新明和工業(株)

古沢 忠彦 海上自衛隊

藤村 康夫 (株)山口銀行

船木 健治 大日本コンサルタント(株)

三原 幸博 東芝(株)

山口 郁生 (株)電力計算センター

横井 忠寛 日本電信電話(株)

渡辺 隆邦 (株)日立製作所

岩本 康 日本ユニパック(株)

J. N. D. Gupta BALL STATE UNIV.

(学生会員)

藤井 秀人 京都大学

早川 孝 上智大学

●62年度入会(正会員)

荒川 貴道 (株)数理システム

池田 邦彦 日立電子サービス(株)

漆原 幸保 日立電子サービス(株)

榎本 隆二 三菱スペースソフトウェア(株)

岡本 茂樹 Telecommunication Systems Support Center Ltd. (N. Z)

梶谷 恭巨 長岡総合学園

加茂 尚樹 日立電子サービス(株)

越山 康 越山康法律事務所

小林 一郎 熊本大学

小林 俊雄 日立電子サービス(株)

佐賀井重雄 (株)電力中央研究所

先名 康治 王子製紙(株)

佐々木勇二 日立電子サービス(株)

重岡 由成 住友金属工業(株)

杉浦満寿男 在日米陸軍図書部

田島 透 (株)藤和建商

田村 公一 (株)エイ・エス・ティ総研

中島 研吾 (株)三菱総合研究所

丹羽 嘉明 (株)アマダ

野田敬太郎	大阪府立大学	河内 素子	神戸大学	榑CSK (2口)
橋爪 聡	榑東レシステムセンタ ー	木村 俊彦	九州大学	日立電子サービス榑 (2口)
福島 薫	大鷲薬品工業榑	倉本 剛	東京工業大学	野村證券榑
福島 常浩	味の素榑	栗栖 和彦	近畿大学	日興證券榑
福田 暉	NTT東京研修センタ ー	香田 博信	九州大学	山一證券榑
水谷 剛	日立電子サービス榑	古閑 義亨	九州大学	榑大林組
三品 吉彦	大日本コンサルタン ト榑	下雅意義徳	岡山理科大学	日本アイ・ビー・エム榑 (2口)
森 啓之	明治大学	辻 真人	東京理科大学	企業総務社会活動
八嶋 広	沖ジェイ・シー・イー 榑	橋本 孝司	京都工芸繊維大学	榑日本ビジネスコンサルタン ト (2口)
(学生会員)		日隈 卓也	九州大学	花王榑
相沢 敦	防衛大学校	百武 稔郎	岡山理科大学	榑東洋信託銀行
明目 淳	東海大学	武呂 健二	京都大学	榑大和證券
池田 隆政	豊橋技術科学大学	茂木 一宏	京都工芸繊維大学	榑日本興業銀行
伊藤 武寿	京都大学	山下 善之	東北大学	●62年度移動
植松 正	防衛大学校	吉本 敦	OREGON STATE UNIV.	池田 隆 筑波大学→榑熊谷組
内田 広樹	九州大学	綿谷 泰典	神戸大学	鈴木 康介 東京工業大学→
大原 浩行	九州大学	S. S. AHMED	大阪大学	日本アイ・ビー・エム榑
小沢 互	千葉大学	広田 裕司	京都大学	村田 厚生 大阪府立大学→
		(賛助会員)		産業医科大学
		ライオン榑		劉 天祥 東北大学→
		日本生命保険(相)		中国生産力中心

編集後記▶今月の特集「シミュレーション」はいかがでしたでしょうか。擬似的なモデルを設定して、現実の様子を再現しながら何らかの戦略(対応策)を検討するという考え方は、まさにORの本質であります。社会現象や自然現象などを人工的に再現することは大変な作業であり、研究にたずさわる方々の御苦勞は並み大抵のことではないと思います▶OR誌にはいろいろな連載物がありますが、もっか「研究室だより」が2年7カ月つづいております。特集「OR教育」がそもそもの発端です。各研究室や各学科の特徴が出ているこの企画の目的の1

つは、OR学会が所属している研究機関をできるだけ多く紹介することにあります。たとえば大学関係では、現在およそ190校ありますが、そのうち60校がすでに紹介されています。ようやく3分の1に達しますが、まだまだこれからです。今後ともご協力くださいますよう、よろしく願いいたします▶今月の中旬には、昭和62年度春季研究発表会ならびに第18回シンポジウムが芦屋大学で開かれます。最新の研究成果が聞けることを楽しみにしています。(Y)

オペレーションズ・リサーチ

昭和62年5月号 第32巻 第5号 通巻317号

代表者 吉山博吉

発行所 社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
(電話 03-815-3351~2) 〒113

編集人 柳井浩

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ

定価 850円(郵送料含)年間予約購読料 9600円(郵送料含)

●本誌への広告お申し込みは明報社(571-2548)、日経弘報社(563-2241)へ